

あとがき

山梨県総合教育センター
次長 小尾 一仁

各学校及び各教育機関におかれましては、本センターの諸事業に対し、多大なる御支援と御協力を賜り、誠にありがとうございます。また、本センターの研究推進に際しまして、御協力、御指導をいただいた研究協力校、山梨大学、山梨県教育庁の皆様には厚く御礼申し上げます。

去る平成31年2月21日に開催しました研究大会には、県内各地から約300名の皆様に御参加いただきました。今年度は、本センターの前身「山梨県立教育研修所」が発足して70周年を迎え、研究大会・創立70周年記念大会を開催しました。『「やまなし 学びの未来」～すべては子供たちの未来のために～』をテーマとして、記念セレモニー、記念講演、ポスター発表、ラウンドテーブルを開催いたしました。記念講演では、講師に山梨県立博物館館長の守屋正彦先生をお迎えし、「甲斐の伝統や文化に関する教育への誘い」と題し、甲斐から中央の文化が生まれた歴史について御講演いただきました。ポスター発表は、本センター指導主事がセンター研究について、各グループ・領域の研究内容を発表しました。今年度のラウンドテーブルは、「ポスター発表のテーマ」をもとに意見交換を行い、参加者の教育活動での経験や実践を共有しました。テーマに照らして交わされた様々な意見や考え方を通して交流が深まり、教育に対する思いが広がるなど多くの成果を収めて終了しました。この場をお借りして、改めて感謝を申し上げます。

さて、本センターは、「学校教育を支援する確かな情報発信源」としての使命を果たすため、研修、研究、相談等の業務を中心に、学校教育の振興と充実のために力を注いでいるところです。このような中、学校支援の充実や教育研究の推進に向けて、この4月に組織改編がなされました。センター改革・教育体制の充実強化施策等も勘案し、これまで取り組んできた研究体制をさらに前進させるため、一主事一研究からグループ・領域毎にチームとして行う研究へ移行しました。研究協力校と連携した協同研究を複数年で実施することとし、特に「授業・学校づくり」「情報教育」「教育相談」では、実践的な校内研究支援の取組を推進して参りました。

新学習指導要領が求める授業改善の本質は、子供たちに求められる資質・能力を育むために、子供や学校の実態、指導の内容に応じ「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の視点から、教師自身の専門性を発揮、創意工夫を凝らした授業づくりにあります。本センターは「学び続ける教員」の理想像に向かい、先駆的研究と教職員の資質・向上を目指す研修の充実を進めています。今後も、研究成果をもとに本センター研修や相談業務の充実を図りながら、調査研究と研修の一体化を念頭に、全県下の学校教育を支援する視点を大切にしたい取組を進めて参ります。

皆様方には、改めて本研究紀要に収録されました研究成果に是非、目を通していただくとともに、一人でも多くの方々に本センターの研究について御周知いただけましたら大変ありがたく存じます。掲載された研究報告が各学校等における教育活動や校内研究、また研修充実のための一助になれば幸いです。今後とも皆様方の御支援と御協力をよろしくお願い申し上げます。